



平成 18 年 10 月 16 日

各 位

会 社 名 株式会社東邦システムサイエンス
代表者名 代表取締役社長 篠原 誠司
(JASDAQ・コード番号 4333)
問合せ先 取締役管理本部長 高橋 誠
(TEL. 03-3868-6060)

平成 19 年 3 月期業績予想の修正（中間・通期）に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 8 月 7 日の第 1 四半期財務・業績の概況（連結）発表時に公表した平成 19 年 3 月期（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 19 年 3 月 31 日）の中間期及び通期の業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期中間連結業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 18 年 9 月 30 日）
(単位：百万円、%)

	売 上 高	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	3, 1 1 0	3 0 0	1 7 1
今 回 修 正 予 想 (B)	3, 2 1 6	3 7 7	2 1 8
増 減 額 (B－A)	1 0 6	7 7	4 7
増 減 率 (%)	3. 4	2 5. 7	2 7. 5
(ご参考) 前期実績 (平成 17 年 9 月中間期)	2, 6 0 3	2 7 8	1 5 9

2. 平成 19 年 3 月期中間業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 18 年 9 月 30 日）
(単位：百万円、%)

	売 上 高	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	3, 1 0 0	2 9 0	1 6 9
今 回 修 正 予 想 (B)	3, 2 0 3	3 7 0	2 1 6
増 減 額 (B－A)	1 0 3	8 0	4 7
増 減 率 (%)	3. 3	2 7. 6	2 7. 8
(ご参考) 前期実績 (平成 17 年 9 月中間期)	2, 5 8 6	2 6 8	1 5 5

3. 平成 19 年 3 月期連結通期業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 19 年 3 月 31 日）
（単位：百万円、％）

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	6, 4 0 0	6 0 0	3 5 0
今 回 修 正 予 想 (B)	6, 7 5 0	6 8 5	3 9 8
増 減 額 (B－A)	3 5 0	8 5	4 8
増 減 率 (％)	5. 5	1 4. 2	1 3. 7
(ご参考) 前期実績（平成 18 年 3 月期）	5, 8 6 3	6 3 5	3 7 1

4. 平成 19 年 3 月期通期業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 19 年 3 月 31 日）
（単位：百万円、％）

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	6, 3 8 0	5 8 4	3 4 2
今 回 修 正 予 想 (B)	6, 7 3 0	6 7 2	3 9 2
増 減 額 (B－A)	3 5 0	8 8	5 0
増 減 率 (％)	5. 5	1 5. 1	1 4. 6
(ご参考) 前期実績（平成 18 年 3 月期）	5, 8 3 4	6 1 8	3 6 2

5. 修正の理由

(1) 単独業績予想

当中間期の売上高は、主力である受注ソフトウェア事業が前期より引き続き好調を維持し、その他の事業も概ね堅調に推移いたしました。

一方、利益面では、I S Oに基づく品質向上への取り組みの徹底及びプロジェクト点検を中心としたPMO（プロジェクト・マネジメント・オフィス）活動の定着などを主因として、仕損プロジェクトの回避が図られ、高い生産性が実現できたことにより、経常利益及び中間純利益が前回発表予想値を上回る見通しとなりましたので、業績予想を修正することといたしました。

また、通期の業績につきましては、下半期も引き続き当社のコアビジネスである金融関連業務及び通信業向け業務とも、需要は堅調に推移するものと予測しており、売上高は前回発表値を5.5％程度上回るものと予想しております。利益面では、品質、納期、価格に対する顧客の要請は依然厳しい状況にあるものの、中間期の業績見通しを踏まえ、通期業績予想を修正することといたしました。

(2) 連結業績予想

連結業績予想の修正は、主に単独業績予想の修正によるものであります。

以 上

（注）この資料に記載しております売上高および利益の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。

従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により、実際の売上高および利益は当該予想とは異なる結果となることがあります。